

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

米フロリダで行われたワールド・ベースボールクラシック(WBC)の決勝ラウンドでは、不振だった村上宗隆選手の逆転サヨナ

ラ打、大谷翔平投手のトアウト選手を三振に仕留め最後を締めた決勝。それらのドラマ的な映像は繰り返し流され、何回見ても飽きない。米大リーグ・日本プロ野球が開幕して多くの世代や国境を越えて野球の話題が尽きない。男女を問わず優れた選手になりたいとの情報を聞く機会が多い。

だが野球・ソフトボール競技は選手だけでは成り立たないことも事実だ。整備されたグラウンドや指導者・審判員・記録員・会場運営スタッフなどの確保や技術向上の課題も

多い。その中でも審判員の高齢化は深刻だ。競技規則を熟知し、眼前で繰り広げられるプレーに瞬時で判断しなければならぬ役割がある。判断したジャッジに不満を持つ者からは、厳しい視線が注が

隊を率いた高杉晋作の句「おもしろき こともなき世に おもしろく すみなすものは 心なりけり」。面白くない世の中でも自分の心持ち一つで面白くなるものさ。と詠んでいる。この機会に、審判

新年度、新たに目指すものは

が大企業並みに、月60時間を超える労働に割増賃金率が50%に統一された。人材確保に悩む中小企業にとって、割増賃金率の増加は企業経営の難題でもある。春闘では多くの企業が賃金改定も実施され、人材確保には他企業に負けない賃上げは避けられない。労働者は労働時間が制約され減収になる者もいるはずだ。労働環境の変革

は、労働者への雇用関係への影響も心配になってしまふ。大北地域の観光産業も、この難題にどう対応していくのか注視する必要があるのだろう。労働者確保のため定住者対策も更に取り組む必要がある。移住希望者に聞くと子供希望者が聞くと子供の教育環境が大切だと

の意見もある。継続可能な地域の在り方が求められている。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



ニンニク畑。春作業の楽しみが、更に健康意識を増幅させてくれる